



さくほ 議会だより



冬の白樺林



ヨイッショー！ 八千穂高原スキー場での「おもちつき」

12月定例会のあらまし	2P
高校卒業まで医療費無料に	3P
一般質問（11人が町政を質す）	4P～
総括質疑・閉会中の議会	9P
追跡 ～一般質問・その後どうなった!?～	10P
委員会合同視察	11P
しらかば	12P

平成27年2月12日

第39号

発行：佐久穂町議会
議長 小林守正
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂営業所
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成26年

12月定例会

定例会のあらまし・町の動きなど

長野県にとつて、平成26年は、自然災害の多発で多くの被害が出ました。尊い人命をなくされた皆様の御冥福をお祈りいたします。

佐久穂町にあつては、

10月24日早朝に、職員の非常参集訓練を行い、最長で1時間45分掛け、登庁された職員がいたそうです。日頃の訓練の積み重ねで、減災に対応したものです。

町の動きは、統合小中学校の建設が遅れぎみです。関係者(社)には、安全第一で、従事されることを望みます。

11月16日には、信州ひすいそばを中心とした、収穫祭を開催し、約400名の参加をいただきました。

又、11月29日には、悪天候の中、八千穂高原スキー場がオープンしました。

第8回佐久穂町議会定例会が12月4日招集され、17日までの14日間で、各議案の審議を行いました。平成26年度一般会計補正予算、特別会計7件の補正予算、条例の改正8件、その他2件、報告1件、追加議案1件の計20件につき審議し、全議案賛成で可決されました。

国庫支出金の国庫補助金で、地域活性化交付金として「がんばる地域交付金」1億2,649万円となり全体で5,512万円の増額補正となりました。今後とも地方への配分の増額を望むところです。

平成26年度

補正予算

一般会計 (補正第6号)

収入、5,512万円増
(国庫支出金などの増額・町債の減額など)
支出、5,512万円増
(教育費などの増額、土木費などの減額)

特別会計

国民健康保険税

(補正第3号)
収入、4,184万円増
(一般会計借入金など)
支出、4,184万円増
(保険給付費など)

介護保険 (補正第2号)

収入、207千円減
(繰入金などの減額)
支出、207千円減
(地域支援事業費など)

簡易水道事業

(補正第2号)
金額補正はなし。

農業集落排水事業

(補正第3号)
収入、330千円増
(繰入金減、繰入金増)
支出、330千円増
(事業費増)

老人保健施設

(補正第4号)
金額補正なし。

後期高齢者医療

(補正第1号)
収入、2,833千円増
(一般会計繰入金)
支出、2,833千円増
(広域連合納付金)

病院事業 (補正第3号)

収入、7,000千円増
(国庫補助金)
支出、8,600千円増
(建設改良費)

請願・陳情

2015年NPT再検討会議に向けて、日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出に関する請願
請願人
原水爆禁止佐久地区協議会

代表 望月清泰
紹介議員 高見澤春野
賛成多数で採択となりました。

最低制限価格の設定に関する陳情書
陳情人
一般財団法人長野県建築士事務所協会佐久支部

支部長 佐藤安幸
賛成者なく、不採択と

なりました。

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
陳情人
長野県医療労働組合連合会

執行委員長 小林吟子
採択となりました。

介護従事者の処遇改善を求める陳情書
陳情人
長野県医療労働組合連合会

執行委員長 小林吟子
採択となりました。

地域振興・地域林業の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係る要請
陳情人
中部地方森林労連全国林野関連労働組合中部地方本部

執行委員長 後藤弘二
採択となりました。



12月定例会

高校卒業まで医療費無料に

……12月定例会……

条例改正

12月定例会に提出された条例案は、第一次行財政改革大綱の中間答申(15項目)に基づいて提出されました。主なもの

■国民健康保険条例の改正
産科医療の保証制度と出産育児一時金の合計を42万円に維持するもの。

■廃棄物の処理条例の改正
事業系のゴミ袋のうち、年間300枚を超える可燃物の場合、1袋400円とするものです。

■福祉医療費給付金の改正
これまで中学卒業までだったものが、高校卒業まで無料とするものです。また母子家庭、父子家庭、精神障がい者に関するものも、県に習って改正されました。

■健康診査料徴収条例改正

これまで、一律の負担を徴収していたものを、一律の補助金を交付する方式に変更するものです。町民ドックの場合、自己負担は1万7千円程度となります。

■高齢者等移送サービス事

業に関する条例の廃止
これまで町が行っていたものを廃止し、社協の事業に移行するため。

■児童館条例の制定
中央小学校の空き校舎で新たに児童館を開設するためのもの。開設時間は午後5時までとし、利用料は、無料です。

■学童クラブ利用料の改正
通年……………1万2千円
月額……………2千円
学業日の日額……………2百円
などとなります。

■保育所条例の改正
保育実施基準に、求職活動、就学などが新たに加わりました。また保育時間も保育短時間と、保育標準時間の2本立てとなります。

補正予算

平成26年度一般会計及び特別会計補正予算案8件は全議案、原案可決となりました。

このうち一般会計は、総額で90億1,690万円となりました。

臨時議会報告

平成26年11月25日

報告事項

一部事務組合議会

主なもの

佐久

広域連合

平成26年

第3回定例議会

開催日 平成26年10月3日

南佐久環境

衛生組合

平成26年

第2回定例議会

開催日 平成26年10月14日

平成25年度一般会計及び特別会計の決算認定案6件。
平成26年度一般会計及び特別会計補正予算案6件。

平成25年度決算認定案2件。
平成26年度補正予算案2件。

全議案、原案可決となりました。

全議案、原案可決となりました。

佐久平環境

衛生組合

平成26年

第2回定例議会

開催日 平成26年11月5日

平成25年度決算認定案1件。
平成26年度補正予算案1件。

全議案、原案可決となりました。

提出案件

●一般職の給与の改正案

●平成26年度一般会計及び特別会計補正予算案4件

●病院事業会計補正予算案

全議案、原案可決となりました。



ため池の状況とその管理について

町長 改修計画を策定していく 管理体制の構築が必要

小宮山 雅 則



ため池について

問 ため池の数と状況は。

町長 町には23箇所あります。古いものは寛永年間に建造されており、多くが長い年月を経過しています。

昨年度から今年度にかけて県と町で一斉点検を行ったところであり、県の調査結果はまだ報告されていません。町調査のため池は、全て緊急性が低い判定でしたが、県の報告書をいただいたところで長期的な改修計画を策定し、万全を期していきたいと考えています。

問 ため池の管理責任は。

町長 ため池の所有者は町としていますが、管理台帳によりますと、管理者は区や地域組織となっているものがあります。

問 転落防止等安全確保は。

町長 万全とは言えませんが、多額の費用を投じて設置すべきか検討が必要です。

問 ため池管理マニュアル等により、町は管理している者の指導をすべきでは。

町長 ため池管理マニュアル等により、町は管理している者の指導をすべきでは。

町長 管理及び監視体制の脆弱化が懸念されますが、今回の調査結果と合わせ周知してまいります。

町の土地登記について

問 未登記土地の実態は。

町長 平成25年度末で、1,519筆ありますが、粘り強く登記を進めていきます。最近取得している土地の未登記はありません。

問 都市計画で土地取得の増加が見込まれますが、登記事務の強化をすべきでは。

町長 確実かつ速やかに分筆登記が行えるよう検討していきます。



冬のため池

閉校となる小中5校の跡地の利活用は!!

町長 教育関連事業を中央小に、他は政策研究チーム・行革本部で決定していく
岩崎 正 孝



問 八千穂小では広大な土地の借用があるが、どうされるか。

町長 借地の返還・再借上げは、事業案により検討する。

問 閉校で学校周辺が賑わいを失うが、その対応は。

町長 跡地の利用方法に影響されるが、そのようなことのないよう配慮検討します。

問 各学校の耐震対策は如何か。

教育長 各学校共、問題ありません。

問 各学校の校舎、体育館、プール、運動場等の管理方法、また担当は。

教育長 平成27年度は、教育委員会で管理、後は警備会社に委託の予定です。

問 門柱、石碑、記念樹、各学校に残る贈答品等貴重な財産の、保管場所等決定されたのでしょうか。

教育長 記念樹は逐次、統合小中学校へ移植していきます。書類を含めた貴重な資料等は一番近い中央小に運ぶ予定です。

行財政改革大綱について

問 合併以後進めた「合併による自立」第一次総合計画との整合性は。

町長 時代の流れの中、第一次佐久穂町行財政改革大綱を策定、これにより「重点化、集中化」「取り組み目標の数値化」「進捗状況の管理」等を毎年評価、見直していきます。



八千穂小学校



借地・公共物の経費削減と自主財源確保は

町長 今まで以上に気を引き締めてやりたい

岡部 勝一

経費削減は

問 行財政改革の問題として、借地、空き公共物の不要経費の削減が必要では。

総務課長 借地料は年間1,300万円程支出、買収に向け、地主さんと交渉中。

教育長 東小学校は、年間130万円程で、維持経費と考えています。

自主財源確保は

問 自主財源確保として、公共物へのネーミングライツの導入や、図書館での雑誌スポンサー制も考えられるが、いかがか。

教育次長 町の広報誌、ホームページのバナー等にスポンサー制を取り入れていますが、新しいスポンサー不足が現状です。

問 町の封筒については、どうですか。

総務課長 数字的なものは手持ちにございません。

問 街灯支柱、公用車への

ステッカーも考えられる。

総務課長 商工会には、お願いしています。

町長 ちりも積もれば山。今まで以上に気を引き締めてやりたい。

子ども安心カード

問 事故・災害等に対応できる、子ども安心カードは導入できないか。

健康福祉課長 高齢者用は配布済みですが、お子さんの物はまだ考えておりません。

教育委員長 養護教諭が中心となり、保健調査票で最新の情報を把握しています。次年度も現状で、実施したい。

朝練習について

問 中学校の朝練習は、継続するのかが。

教育委員長 各学校で、協議を重ね、統合後の部活動の方向を確認し、朝部活は7時30分から、8時までの30分間行います。

多面的機能支払交付金事業の積極的普及を

町長

町費負担1/4の交付金を積極的に普及します

浅井 正昭



問 事業取り組み地区の少ないのは、煩雑な事務処理の負担が阻害要因と考えられる。町による事務負担軽減支援策はとれないか。

町長 町は事業の指導やチェック、確認をする立場で、書類の作成や金銭の管理はできない。地域の若い農業後継者や新規就農者の中で、事務処理が得意な方の協力を検討してほしい。

問 中山間地域等直接支払事業と共同で、道水路の修理ができないか。

建設課長 両事業が関与する水路修理は、それぞれの活動計画書に組み込まれ、費用負担も両事業で配分することが明記されていれば、共同で実施できる。

キャリア教育

問 キャリア教育の実施にあたり、教育計画進捗状況は。

町長 4月開校する、小学校、中学校は9年間を見通した指導カリキュラムで効果的、系統的指導のもと、小中一貫教育を推進します。特にキャリア教育は、大変重要な教育であると考えています。

問 町の産業や職場を紹介し、ふるさとを学ぶ、調べ

学習、職場体験学習に協力しただけの事業所数は。又、教育活動を進めるに当たり協力をいただける人数は。

教育長 40社の取材を終え、記事の整理中です。最終60社を収録した資料としたい。特技をもった人の登録人数は、45名の協力をいただいた。さまざまの分野より協力をお願いします。

問 家庭でのキャリア教育が必要と思うが。

教育長 キャリア教育は、学校に入学してから始まるものではない。子育ては親の責任があり、子育てを社会で支えていくことが必要です。

「大綱」を5億円対策に矮小化していないか

町長 説明のキーワードとして使っています



井出清嗣

問 「早世」とか「今後は、あれもこれもでなく、あれかこれかになる。」とか、住民を脅かすような言葉を使っているのではないかと考えてもよいのでは。

問 行財政改革大綱(案)は、それ自体述べているように「活力のある町を目指して」改革を行うべきものであり、単なる支出の削減だけでは活力のある町は見えてこないと考えるが。

町長 目前に迫る交付税の減額が大きく、削減一辺倒の計画になっていますが、基本方針で「住民と力を合わせたまちづくり」として、住民と町の役割分担を考える議論のきっかけとするものです。

問 今まで住民が「あれもこれも」とすべてを望んできたことはなく、必要なことをその都度要求してきたのだと思います。

5億円がなくなることは10年前からわかっていて、だからこそ自立計画などで、人件費の削減を行ってす



女性管理職の登用の考えは...

町長 前向きに取り組んでいきます

高見澤 春野



女性や若者が活躍する場を広げるために

問 女性管理職の登用と支援を進めるべきでは。

町長 本人が意欲を持ち取り組み、責任を全うすることが可能な職務であれば、女性管理職登用を前向きに取り組んでいきます。同時に女性職員の支援も行っていきます。

問 女性議会を開催しては。

町長 議会から提案していただければ、対応します。

問 男女共同参画基本条例の制定で、進める必要があるのでは。

住民税務課長 今

年度中に男女共同参画計画策定を目指し、準備を進めています。

平成27年から31年の5年間の計画です。

食育推進の施策について

問 統合小中学校での栄養職員の配置と、食育の取り組みの考えは。

教育長 基準(国・県)により、1名配置の予定です。

教育委員長 食育指導の狙いは、食事に關する正しい理解と、適切な判断力を養い、児童・生徒の心身の健全な発達に努めること。食に關する指導を計画的に実施し、食育の推進を図ることの2点です。指導目標は食事の重要性、心身の健康食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化の6点について、細かく立てています。



町役場のフロア



歴史的なまちなみを活かしたまちづくりを

町長 重要性を認識し、保全を検討します

井出 正臣

統合小中学校の 内容・運営

問 開校を直前に控えた統合小中学校の、特色及び運営形態はどのようになるか。

教育委員長 小中学校のつながりを意識した「学力の向上」、9年生までが自然な交流を行える「心を豊かにする教育」、佐久穂町の良さを体感する地域を生かした「キャリア教育」、以上の3点を一貫教育の特色として行っています。

教育長 小中一貫教育推進委員会を組織し、進捗状況の説明や、意見聴取を行っています。新たな教育制度の構築及び定着ができるよう、国の法改正により、教育委員長と教育長を置く現体制で対応していきます。

問 キャリア教育は、町長が率先して子どもたちに町の良さを伝えるべきではないか。

町長 酪農やキノコ栽培、釣りなど、これまでの経験や趣味を活かして、喜んで

やらせていただきます。

都市計画の導入 と今後

問 都市計画は、道路後援や、確認申請導入のみではない。景観行政のあり方とまちづくりの方向性において、歴史的建造物を活用した方針は考えられるか。

町長 佐久穂町には、近代の歴史を持つ建造物が多く残っており、これに対する重要性は認識しています。まちづくりの方針として、今も残る古い町並みというのは、できるだけ残していきたいと考えています。

総務課長 平成26年11月の長野県都市計画審議会において、長野県のまちづくり課長から、歴史的建造物の保全に対する補助金利用の提言も頂いているので、今後検討していきたいと思えます。

佐久穂町第1次行財政大綱(案)について

町長 今回の大綱は議論のきっかけであり、今後皆さんとの真剣な議論を行う中で徐々に変えていければ

佐々木 正雄



問 各種団体への補助金削減を定率(5〜10%)としている根拠は。

町長 根拠はありません。

問 街灯管理事業で、新小中学校に係る通学路に対してどの様に検討されたか。

総務課長 新しい通学路の街灯に関しては、基本的に100メートル間隔で設置する内容で、業者に発注済みです。また、街灯に係る電気代については、地元負担制度は「現時点では」考えておりません。

問 高齢者移送サービス事業の、実績と今後について。

健康福祉課長 平成21年度から5年間で674件、年平均135件の実績となっています。また、この事業における利用者負担が一般のタクシー料金に比べ安価なため、全事業者が撤退するような事象が生じるときは、利用者への補助金を検討します。

問 町内6会場で開催された、住民説明会の参加者数及び参加者からの意見等は。

町長 参加者は全体で162名、全町民の1.3%であり、多くの住民の皆さんに説明できませんでしたが、今後は、各地区や団体等で集まる機会がありましたらお伺いをし、説明させて頂き皆様の御意見を今後の議論のきっかけとしたい。また、各会場での皆さんの意見は、町のホームページに掲載してあるので、そちらをご覧くださいと思います。



保全を望む家屋



熱心に聴講する参加者

豪雪時の除雪体制を新たに 設定すべきではないか

町長 降雪の状況を見ながら、建設事務所単位で対応します



高見澤 研二

問 豪雪時の除雪体制を、従来から設定されている大雪時の除雪体制とは別に設定し、町民の理解を得ておくべくではないか。

答 大綱の活動計画の中間答申が出され、それに沿って今回条例案が提出されているが、中間答申の自身を先に議会に説明するべきではないか。

町長 2月の豪雪の経験から、県や広域で協議の場を設けました。今後の降雪の状況を見ながら、建設事務所単位で適切な対応をしていきます。

問 行財政改革大綱に沿って、事業を見直し具体化していく際には、行政サービスの後退や我慢の押しつけでなく、住民の皆さんが「皆で創る町作り」に協力したくなるような、肯定的で希望のわく働きかけが必要ではないか。

町長 老健施設の増床工事が遅れているが、原因と今後の見通しはどうか。

町長 今回の大綱の活動計画(案)は議論のきっかけであり、今後は住民の皆さんと一緒に進めていける様な形でやっていきます。



老健の工事が進む

人口減少に歯止めをかける対策は

町長 危機感を持って対処していく
職員の能力を高めることが重要
倉澤 陽一



問 佐久穂町の、人口の減少に対する対策は。

町長 当町は、若年女性の減少割合が県下で9番目に高い。覚悟と企画実行力が問われる。職員一丸となつて対応していく。

総務課長 昨年より全職員を対象に11回の人材育成講座を開催。町民の皆様と町づくりを推進していく。

問 結婚支援も大事。民放テレビ局の婚活番組に申し込んでみては。

産業振興課長 日本一の白樺林と恋人の聖地に認定されているので、青年部の皆さんを支援して、全国に発信していきたい。

問 子育て支援策の一つ、病児・病後児の保育の予定は。

子ども課長 千曲病院の事業所保育と併設で県に照会中、協議が整い次第全体を示し、必要な予算をお願いしたい。

問 親は子どもの教育のために住居を決める事もある。一貫教育の成功が町の将来を決めると思うが。

教育長 沖縄から移住してくれた人もいる。数件の問い合わせもある。小中一貫教育を前面に出して、若者定住促進に心がけたい。

十石峠トンネル化は

問 上野村は、トンネル化に向けて熱い思いがあるが、佐久穂町の取り組みは。

町長 上野村神田村長を会長とする8市町村の期成同盟会で、国・県にトンネル化を含め、通行通行の実現等要望しております。

公共施設に分煙場所を

問 たばこ税25年度6,100万円の税収、納税者にしっかりとした分煙場所の確保は。

総務課長 受動喫煙防止の措置と、施設の中にスペースもないことから、非常に難しい状況であり、外でと考えております。



行財政改革大綱の実施のための基本方針は

住民と力をあわせた町づくり 及び財政健全化の推進

倉澤 治 貴

町長

問 総合計画と行財政改革大綱(案)との、関連性と位置関係は。

町長 行革大綱は、総合計画を補完する役割を担っている。重点化、集中化を盛り込むことで、住民との協働やサービスの適正化を目指す。

問 大綱実施のための基本方針は。

町長 住民と力を合わせた協働の町づくりや、住民サービスの向上に努め、効果的かつ効果的な行政運営のための仕組みづくり、人材育成、財政健全化を推進すること。

問 第一次大綱案の取りまとめは。

総務課長 3月に出すが、その後も意見集約や協議は行っていく。

問 説明会の参加者が少なかつたのは、行政に対する不信感があるのでは。

総務課長 あらゆる機会を

とつて説明していく。

問 まずは大きい事業について、検討すべきでは。

総務課長 全ての事業について検討しているが、協議の進捗に違いが出ている状況にある。

統合小中学校の 開校に向けて

問 通学路の整備状況及び安全対策は。

教育長 街灯、国道141号下畑橋交差点の信号機、横断歩道及び、南佐久大橋の高欄設置等は開校までに供用開始の予定。

問 千曲病院入口国道交差点の、道路横断についての安全対策は。

教育長 ガードポール設置、信号機の調整等により対応する。誘導員の配置、歩道橋の設置については、今後検討する。



総

括

質

疑

井出清嗣

問 がんばる地域交付金1億2,649万3千円は、どのような事業が対象か。

答 26年度予算に計上され実施される事業の中で建設地方債の対象となる事業全てが対象で、約3億5千万円の36%がこの交付金です。

問 毎年交付されるのか。

答 臨時交付金なので、今回限りです。

問 児童館条例施行規則の、館長及び児童厚生員の人数は何名か。

答 厚生員2名と定義があり、館長も資格者として、あと1名の厚生員でクリアできると考えますが、実際の運営内容、利用実態によって職員配置を考えます。

問 同一場所に設置される、学童クラブの指導員と兼務となるのか。

答 一部施設を併用する事も想定して、業務的には兼務の体制も視野に入られて、現在検討しております。



閉会中の議会

9月~11月
(主なもの)

9月

● 八千穂・佐久両中学校文化祭

● 八千穂中学校閉校式

● 秋の交通安全運動

● 町内3小学校運動会

10月

● 南佐久郡・佐久穂町戦没者追悼式

● 八千穂・海瀬保育園運動会

● 佐久西小学校閉校式

● 福祉と健康のつどい

● 佐久中央小学校閉校式

● 群馬県上野村議会との交流会

● 群馬県上野村議会との交流会

11月

● 佐久中学校閉校式

● 群馬県南牧村議会との懇談会



一般質問

追跡

一般質問

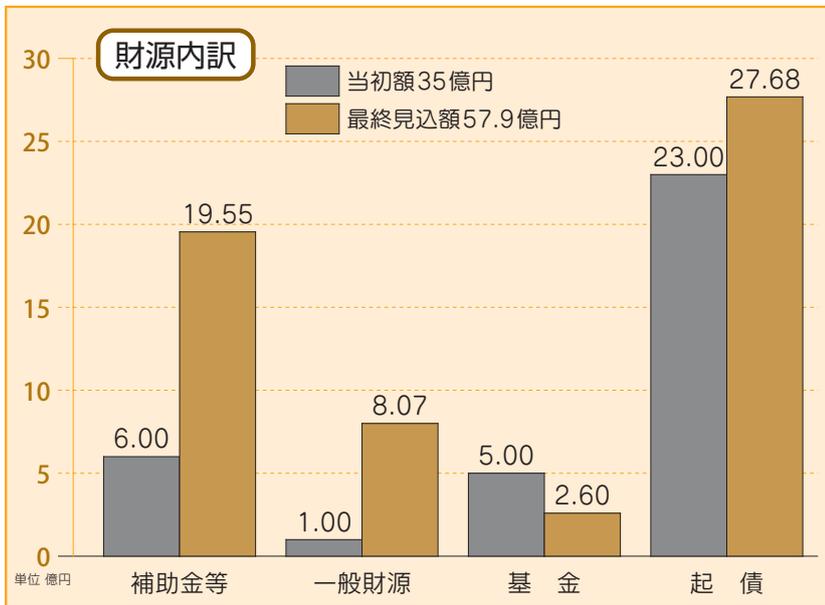
その後どうなった!?

間もなく開校する統合小中学校ですが、当初予算額と最終見込額に大きな差があります。

今回は、平成25年9月の一般質問をもとに**追跡**してみました。



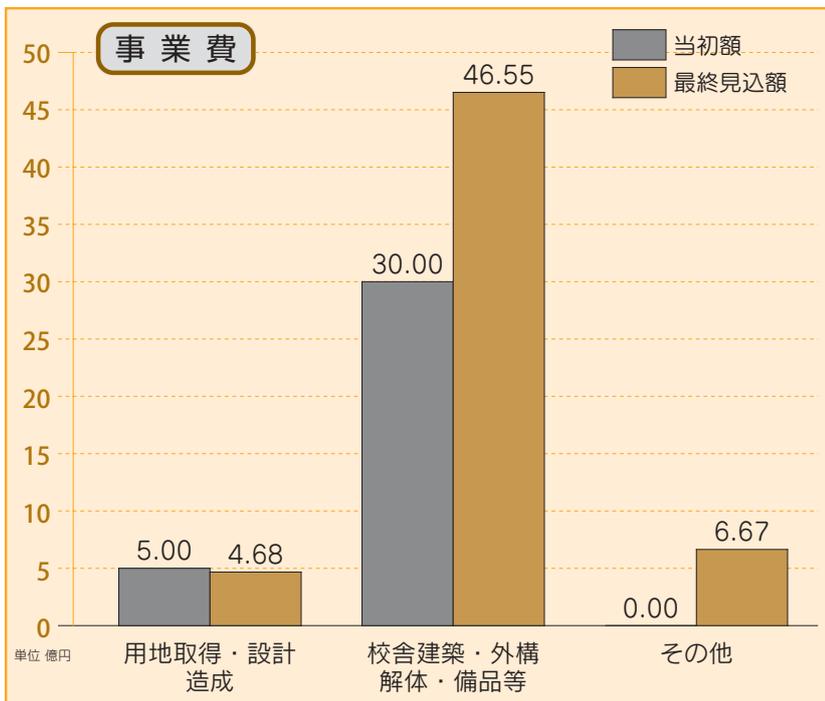
統合小中学校 建築費用



統合小中学校の建設当初予算は、約35億円を予定し

ていました。この予算の大半を占める校舎建築費用の算定根拠としては、建築基準補助単価をもとに、補助基準面積から算出したものです。

その後、柔剣道の必修化による格技場の設置義務化や、先生たちの要望により、理科室、音楽室、調理室、特別支援学級といった特別教室の数の増加。小学生や



中学生が積極的に交流できるオープンスペースや、教室外での授業にも利用できる多目的スペースの設置を取り入れたことにより建築面積が増加しました。また、国が定める建築基準補助単価と、実勢単価の違いによる積算金額の増加もありました。その他では、太陽光発電設備の設置や用地交渉による代替地造成費、外構

工事の増加などがあり、最終的には約58億円の整備事業費となりました。

整備事業の財源は、主に補助金と合併特例債による起債で賄われています。佐久穂町に交付された合併特例債の約半分は、この事業に使用されました。一般財源からの支出は増加しましたが、基金の取り崩しは減少しました。



風景まちづくり

滋賀県近江八幡市

「近江商人」の発祥の地として有名な近江八幡市。琵琶湖へとつながる「八幡堀」が風情よく残り、風景まちづくりとして成功していることで、全国的に有名です。

この堀も、昭和の高度成長期には生活雑排水が流れ込み、異臭を漂わせる公害の源だったそうです。その対策として、これを埋め立

てて駐車場にしようという市の方向性が示されました。これに対して、当時の地域住民の方々が、自分たちの力でこれを清掃し浄化させ、決定を覆したことから「まちづくり」が始まり、今日に至ったそうです。

より良い景観形成への意識の高まりは、個人住宅に対しても協力を求めるまでになり、日本の誇るべき風景を作り出しています。

官主導ではなく、住民の地域に対する意識と行動が作り出した風景は、今は多くなった観光客よりも、地元の人達が大切にしている愛着心が維持しているものだと思ふことができました。

菜園生活「風来」

石川県能美市

菜園生活「風来」は、約50種の野菜を無農薬や無肥料で栽培し、年商1,200万円を稼ぎ出す小規模農

家です。

「佐久穂町と言えば、新規就農者が多いところですよね」という答えを返してくれた、代表・西田栄喜さんの畑は、目と手が簡単に届く範囲の小さなもので、お世辞にもキレイと言えるようなものではありません。しかしながら、成功の秘訣であるこだわりの農法と、小農多品種によるミニマム主義のスケールメリットを熱心に説いてくださいました。

インターネットによる全国販売を積極的に行うことは当然ながら、こちらの人気商品は「特製キムチ」や「キムチ鍋セット」。生産・加工・販売の6次産業化は個人の発想と努力で実現で

きることを痛感しました。

農業は大量生産と農協出荷で、冬には仕事がないというのは、田舎に住む私たちの固定観念であり、まだまだ挑む価値と魅力がある領域だと感じさせられました。

子育て支援センター

石川県七尾市

少子化や子育ての多様化に柔軟に対応し、あらゆる施策を実施してきた石川県七尾市。「保育ママ」（現在は廃止）の家庭への派遣や、公立保育所の統廃合や民営化を進め、行財政改革や住民の要望に応えてきました。駅前商業施設「ミナ・クル」の中には、地域子育てセンター「親子ふれあいランドあい・あい・あい」があり、利便性が高く人気と

のこと。官設民営の常時開放型のこのセンターは、NPO法人が運営を行っており、子どもの一次預かり事業は、冠婚葬祭や母親のリラクゼーションなど、多様なニーズに応じて利用されています。

玩具の一時貸出を行う、「おもちゃ図書館」や、臨



床心理士が相談対応してくれる「ゆったり子育て」など内容も充実しており、安心な子育て空間の実現と現状を見ることができました。常設型の子育て支援空間は、悩みの多いお母さん方には必要であると、改めて考えることができました。

氷見市役所

富山県氷見市

廃校となった元県立高校を大規模に改修して、市役所として利用した氷見市。教室を職場として利用することはもちろん、旧体育館をワンフロアで利用し、間仕切りがない大きな空間にあらゆる部署が配置されていることに衝撃を受けました。



ただ廃校を利用しただけでなく、案内表示や受付カウンターのデザイン力が非常に高く、これが単なるパフォーマンスではなく、利便性の向上につながっていることを感じる事ができました。

また、窓口サービスがワンストップで利用できるような工夫がされており、無理やり学校を利用したという状況を見せないところは感心しました。統合小中学校の開校による、廃校利用を早急に行わなければいけない佐久穂町ではありますが、難しく考えるよりも「やってみよう」というのを、この市役所は示してくれました。この市役所は示してくれました。この市役所は示してくれました。

委員会合同視察

10月20日～22日



私たちは草の根外交官

西村 佳壽子



今回は、平成16年から10年間、独立行政法人国際協力機構のシニア海外ボランティアとして、御夫婦で教育関連の活動をされてきた、畑の西村佳壽子さんにお話を伺いました。

■色々な国へと行かれたと思いますが？
 最初の国はカンボジアでした。ポルポトの大虐殺から20年、非常に貧しい国でした。首都プノンペンでの生活でしたが、首都と言っても裸電球が家々を照らす程度の町で、衝撃を受けました。

■教育環境は整っていたのですか？

とんでもないです。学校に通いたくても通えないことを、泣きながら訴える生徒にも出会い、大きなショックを受けました。過酷な環境の中、カンボジアに2年滞在中、中東のヨルダンへと赴任しました。

■中東地域というところ、非常に情勢が不安定という印象がありますが？
 報道されるイメージとは全く違います。生活に慣れるにつれ、現地の方が「ご飯を食べるおいで、お茶を飲みにおいで」と声をかけてくれ、ヨルダン国民の人懐っこさ、人情味の強さに惹きこまれていきました。

■その他に行かれた国は？

平成24年からは、マレーシアのボルネオ島に赴任になりました。この島は、ジャングルがある熱帯雨林気候ですが、朝夕は爽やかな信州のように過ごしやすかったです。マレーシアは、女性の活躍が目立ち、託児所も充実していたのが印象的でした。

■活動を通して感じられたことは？

私たちは3か国で生活を送りながら、それぞれ2年



間ずつ教育関係の仕事に貢献しました。その間、日本のあらゆる素晴らしさに気が付いた反面、発展途上で教えられることもたくさんあり、改めて幸せの基準を考える機会を与えられました。

■今後のご予定は？

機会があれば、また外国へ渡り、夫婦で「草の根外交官」を続けていきたいと思っています。

統合小中学校開校を間近に控える中、教育を受けられることがどれだけ「ありがたい」かを考えるべきだと強く感じました。

(聞き手 井出正臣)

次回の3月定例会は
 3月5日(木)～3月18日(水)を予定しております。
 多くの皆様の傍聴をお待ちしています。

編集後記



昨年12月14日、総選挙が実施されました。各自治体でも、定例議会の開会中だったと思います。前回は続く師走の選挙となりました。気ぜわしい時期の選挙は、投票率にも表われ、最低の数字となりました。国の進む方向を左右する大事な選挙。その日取りは有権者に大きく影響します。国政に直接意志表示できる大事な一票の行使、より多くの国民が投票に出かけやすい時期ということも、考慮してほしいものです。

若者の投票離れも大きな要因です。なぜ若者は投票率が低いのでしょうか。次代を担う若者が真剣に国の将来を考え、人権・福祉・経済・政治、熱く語る姿を見せてください。そして、是非一票を行使しましょう。日本の未来は君たちにかかっているのです。